

福智町 議会の窓

議会だより

FUKUCHI TOWN COUNCIL NEWS

2018.12

VOL 44

表紙 福智下宮神社
(場所:福智町上野423)

主な
内容

議決結果	2
決算特別委員会報告	3
常任委員会報告	4
一般質問(8議員)	7
研修会参加報告	16
編集後記	16

議決結果

平成30年

第3回福智町議会定例会

〔会期9月7日～21日〕

〔定例会審議内容〕

平成30年（2018年）第3回福智町議会定例会が9月7日（金）から9月21日（金）の会期で開催されました。定例会では、町長報告、それぞれの委員会報告などが行われた後、平成29年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定、平成30年度一般会計・特別会計補正予算や工事請負契約の締結の議決、人権擁護委員の推薦など、報告1件・認定1件・発委1件・議案8件、諮問2件を審議しました。その結果、報告、認定、発委、議案、諮問は可決承認・推薦されました。

〔一般会計補正予算〕
一般会計補正予算額6億5286万1000円を決定！

内容は、昨年の剰余金分を減債基金への積立て5億677万3000円、農業用水路・溜池などの災害復旧工事費3720万円、道路災害復旧工事費2300万円、住宅新築奨励金1500万円、中古住宅物件宅購入奨励金500万円、子ども子育て支援事業計画策定業務・病児病後児保育施設改修工事設計委託570万円などの他、職員の人事異動等に伴う給料・職員手当などの追加補正予算6億5286万1000円を可決承認しました。

〔審議結果〕
出席議員16名
可決《賛成15 反対0》
議長は除く

《工事請負契約締結の議会議決》

湧潤団地改善工事に先立ち建設工事始まる！

昭和52年～昭和55年度で建設された湧潤団地「福智町伊方」の老朽化に伴い、現在ある5棟のうち、4棟を改善工事、1棟を解体するもので、仮住居に使用する計画でもある建替棟の建設を改善工事に先立ち行う、鉄筋コンクリート耐火構造6階建工事を議会で議決承認しました。

〔工事内容〕

平成30・31年度 社会資本整備総合交付金事業
湧潤団地建設（1工区）
建築主体工事
鉄筋コンクリート耐火構造6階建・3DK（64・08㎡）24戸

〔工期〕

平成30年9月7日から平成31年10月31日

〔契約方法〕
指名競争入札
〔契約金額〕
3億4025万5718円

円（うち消費税額2514万6718円）
〔契約の相手方〕
福岡県田川郡福智町伊方4628
株式会社 崎山組
〔代表取締役・崎山 京〕

〔審議結果〕

出席議員17名
可決《賛成16 反対0》
議長は除く

《人権擁護委員の推薦》

人権擁護委員に阿部大美女、浦田浩三氏を推薦！

平成30年12月31日をもって、任期満了となる渡邊巧委員及び、近藤新一委員の後任とし、阿部大美女（福智町金田）及び浦田浩三氏（福智町上野）を人権擁護委員の候補者として推薦を決定しました。

なお、任期は平成31年1月1日から平成33年12月31日までの3年間です。

〔審議結果〕
出席議員16名
可決《賛成15 反対0》
議長は除く

決算特別委員会報告

委員長 渡邊 文敏 副委員長 堀江 政洋
委員 橋本 騰馬 日比生 洋一
皆川 高司 朝部 壽

平成29年度福智町一般会計・特別会計・水道事業会計の歳入歳出決算を審査するため、決算特別委員会を設置し、審査をおこないました。

主な意見

- ①合併による国の優遇措置の終了後は、普通交付税が減額されるため、財政力に不安のある本町においては、財政悪化が懸念される。住民に影響を及ぼさないよう、中長期的な観点から、安定的な財政運営が行えるよう必要な措置を講じていただきたい。
- ②清掃業務等の委託で町外業者への発注が多く見られる。町内に有資格業者がいる場合は、町内の業者を優先に選定していただきたい。
- ③公共用地の買取価格をもう一度見直し、町民の血税である予算は、適正な評価をして執行していただきたい。

総括

健全な財政状況の一方で、国保及び診療所事業会計の赤字を一般会計が補てんする状況が続いている。このまま財政状況を放置すれば、財政運営は困難な事態に陥る。先送りしていた特別会計の赤字問題を早期に是正し、過去の教訓を生かし、健全な行財政運営に努めるよう求める。

	歳入	歳出	歳入・歳出差引額
一般会計	178億721万5千円	171億9244万円	6億1477万5千円

・基金現在高（H29年度末 普通会計）……………188億4849万9千円〔前年度比較 12億9521万5千円増〕
・地方債現在高（H29年度末 普通会計）……………210億9704万8千円〔前年度比較 8億6379万円減〕

特別会計	歳入	歳出	歳入・歳出差引額
同和地区住宅新築資金等貸付事業	8000万3千円	7092万円	908万3千円
公共用地先行取得事業	0千円	0千円	0千円
国民健康保険	32億6535万3千円	33億8598万5千円	△1億2063万2千円
後期高齢者医療	2億7388万3千円	2億6874万8千円	513万5千円
福智町町立診療所事業	4億5334万6千円	7億8625万1千円	△3億3290万5千円
田川郡町村公平委員会	207万7千円	70万2千円	137万5千円
事業会計	総収益	総費用	差引額
水道事業（収益的事業）	5億5448万7千円	5億2656万6千円	2792万1千円

※各欄は単位未満四捨五入しています。

監査委員の意見

今後の行財政運営にあたっては、平成28年度交付税から合併算定替効果の段階的縮減が始まっており、平成33年度には皆減となる。また、90%以上を推移する経常収支比率の改善に重きを置いた予算編成を図るとともに、今後、「金田小中学校・伊方小学校の改築事業」、「ごみ・し尿処理施設建設事業」、「町営住宅の改修・建替事業」、「文化財関連施設整備」など多額の経費を要する事業実施が見込まれている。このため、合併後進んでいない公共施設の統廃合や事業統合を早急に行い、予算縮小に取り組む必要がある。また、各種の事業実施にあたっては、当町に寄与する事業が否かを充分に見極め、効率的で質の高い行政サービスの提供に努め、健全で経済的な財政運営が図られるよう要望する。特に、合併時から継続的に実施している事業については、その効果等を検証すること。



平成30年第3回定例会出欠表

日 程	橋本	小松	尾崎	木戸	渡邊	辰島	沼口	楠木	堀江	高津	矢野	日比生	木村	原田	皆川	朝部	浦田	大島	属	安永
9月 7日 本会議第1日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○
9月19日 本会議第2日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○
9月21日 本会議第3日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●	●	○

○は出席 ●は欠席

常任委員会報告

各常任委員会で審議した主な質疑
応答・意見などをご紹介します。

総務文教常任委員会報告

委員長 辰島 誠 副委員長 橋本 騰馬 議長 矢野 博文
委員 渡邊 文敏・楠木 静則・木村 幸治 欠席 委員 属 公弘・浦田 光由
所管課 総務課 / 納納室 / 財政課 / まちづくり総合政策課 / 税務課 / 学校教育課 / 生涯学習課 / 支所 / 議会事務局

主な質疑

一般会計補正予算

質疑 分譲団地造成工事2千万円の説明を求めぬ。

答弁 旧方城町の職員区で5区画前後の分譲地の造成を考えている。

質疑 地域活動指導員は何名で、どこに配置しているのか。

答弁 方城支所、ふれあい塾、中央公民館に各1名、方城分館に2名計5名を配置している。

質疑 社会教育総務費の弁護士委託料100万円は訴訟費用か。

答弁 前図書館長による提訴に応じたもの。

質疑 具体的にはどんな内容で訴えられているのか。

答弁 雇用契約の更新がされなかったことを不服として、金銭の補償と復職を求めて提訴している。

質疑 原則5年契約だが、3年を経過した時点で再契約するかどうかの判断結果を、本人が容認しなかったと思うが、すでに、解決していたのではないか。

答弁 解決はしていない。町としては雇用契約の内容に従って今まで対応していたが、弁護士を通じての和解にも応じなかった。

質疑 その他公共施設・公用施設災害復旧費で調査設計委託料700万円を計上しているが、どこか。

答弁 神崎地区の月見台分譲地だが、法面が豪雨により若干膨らんでいるのでその対応をする。

その他の案件

質疑 水道事業の統合は、浄水場や東中古門の専用水道など地元の問題が片付いてないということ

答弁 6年前に断ち切れなくなったが、その後、どのような経緯で合併するようになったのか。

答弁 平成27年7月に構成団体による運営協議会の中で、再度事業統合を検討することが確認されている。その後、議会定例会、議員研修会などでも報告や説明をしている。また、私の施政方針の中でも皆様にお知らせしている。

質疑 報告は聞いたが、詳しい内容までは聞いていない。北海道の例もあることだが、何でも一箇所に統合すればいいとは限らない。統合については時期尚早だと思いが、地元説明会はどうなっているのか。

答弁 議員の皆様が各地区の地元代表し引き、約6億1千万円が実質の赤字補てんとなる。何れにしても、一つの町で2つの診療所を抱えるということは財政的にも厳しいので、統廃合を含めて早急に方向性を出さなければならぬと考えている。

質疑 一町民として、診療所の現状を知り、赤字を少しでも埋める努力をしていく必要があると思つ。診療所の利用を促す対応を何かやっているのか。

答弁 現在、診療所の積極的な活用については検討しているが、広報紙等を通じて診療所の機能等の紹介を行い、町民に広く利用してもらえよう対応したいと考えている。

その他の案件

質疑 1カ月前、赤池の高尾地区で火災があったが、近くに防火水槽ないし消火栓がなかったため、消火活動に支障を来している。

答弁 現在、出来るだけ早く設置する方向で検討している。

質疑 水道事業の広域合併に伴い、町内にある水道関連の施設については、すでに休止しているもの

厚生常任委員会報告

委員長 堀江 政洋 副委員長 小松 繁信
委員 尾崎 さつき・矢野 博文・朝部 壽・安永 榮一 欠席 委員 大島 勇夫
所管課 住民課 / 福祉課 / 人権・同和対策課 / 保健課 / 水道課 / 診療所

主な質疑・意見

一般会計補正予算

質疑 2款3項1目戸籍住民基本台帳費でマイナンバー制度導入に伴う戸籍関係委託料として48万6千円を計上しているが、現在の進捗状況はどのようになっているのか。

答弁 マイナンバーカードの普及率は、現在申請中も含め、総人口の約7・7%となっている。現在、マイナンバーカードを利用して住民票の写し、各種税証明書などがコンビニで取得できるよう作業を進めている。今後、マイナンバーカードの活用範囲がますます広がっていくことが予想されるので、さらに、マイナンバーカードの重要性を住民に周知していきたいと考えている。

診療所事業特別会計補正予算

質疑 両診療所の累積赤字はいくらになっているのか。

答弁 約10億円となっている。ただし、平成18年度から平成28年度までの年間で約9億9千万円を一般会計より繰り入れしている。そのうち、3億8千万円が普通交付税に算入されているため、差

として選出されているので、特に地元説明会は開催していない。ただし、東中古門の専用水道の役員の皆様には方向性なりの説明をした。

質疑 何年か先、水道代はトン当たりいくらになるのか。

答弁 20年後の平成48年にはトン当たりの単価が418円となる。統合した場合の単価が約245円と見込まれているので比較すると173円の差が生じる。統合することで、緩やかな上がり幅に抑えることが出来る。

審査結果

当委員会に付託された議案を慎重に審議した結果、すべて可決、採択しました。



▲審議風景

もあると思うが、今後の取り扱いはどうなるのか。

答弁 統合後、すぐに廃止となることはないが、平成35年には町内にある浄水施設6カ所及び水源8カ所は、すべて廃止する予定になっている。

審査結果

当委員会に付託された議案を慎重に審議した結果、すべて可決、採択しました。



▲審議風景

産業建設常任委員会報告

委員長 日比生 洋一 副委員長 高津 鶴己 議長 矢野 博文
 委員 木戸 勝正・沼口 富生・原田 幸美・皆川 高司
 所管課 建設課 / 農政課 / 住宅課

主な質疑

一般会計補正予算

質疑 農地災害復旧費で床波農地土砂撤去工事費として630万円計上しているが、今回、所有者にある程度の受益者負担を求めているのか。

答弁 災害の発生により、農地に町の木が倒れ込んだり、農業用水路に土砂が流れ込んだりしたため、その撤去費用を計上している。今回、町側の責任ということで、受益者負担は求めている。

道路橋梁災害復旧費で測量設計調査委託料380万円、災害復旧に伴う工事費として2300万円を要求しているが、これは、

質疑 併城から上野の方に行く道路が陥没したことの復旧費だと思うが、陥没の原因は、近くの久留守池が満水になり越水したことが原因なのか。

答弁 道路の基礎部分が円弧上のすべり面によって崩壊したことが確認された。

その他の案件

質疑 溜池の除草・伐採については、旧3町で受益者負担についての

取扱いが違い公平性を欠いている。10年前より統一をお願いしていたが、その後どうなったのか。

答弁 水利組合等に賃金として支払っている部分がある。

意見 10年前にお願いしたことが何もなっていない。町が支払う方向で揃えていただきたい。

質疑 最近、国の機関による障害者雇率の水増しが問題となっている。福智町の障害者雇率はどうなっているのか。

答弁 6月1日現在で再任用職員を含む調査対象該当者の数は247名、そのうち障害者数は6名、比率は2.5%で法定雇率率は達成している。

質疑

会計年度任用職員制度が導入された場合、同一労働、同一賃金など非正規雇用の処遇改善を目的としているため、賃金や手当の問題が出てくると思うが、今いる臨時職員を国の指示通り雇用すれば莫大な費用がかかる。この辺の問題はどうするのか。また、この制度はいつから導入されるのか。

答弁 この制度は平成32年4月1日から導入される。国の通達では、法律

上、一般職の非常勤職員の任用等に関する制度が不明確であることから、一般職の非常勤職員である会計年度任用職員に関する規定を設け、その採用方法や任期等を明確化するという内容になっている。なお、経費については、試算では、現支給額のおよそ1.6倍位はかかる。

意見 各行政区には子どもの遊び場などで危険な箇所があると思う。調査のうえ、悪い所は撤去、修理していただきたい。

審査結果

当委員会に付託された議案を慎重に審議した結果、可決、採択しました。



▲審議風景

一般質問

(平成30年第3回定例会)



議員8人が質問

一般質問は、町民の声や議員自身の考え方をもとに、町長や教育長などに、方針を問うものです。

議会だよりでは、質問と答弁を要約しています。本会議場での傍聴をお待ちしています。

質問者	質問事項	ページ
原田 幸美	1. バイパス(田川-直方)の活性化について 2. 福祉バスの活用について 3. 農業振興について	8
木戸 勝正	1. 税務課業務内容について 2. 水と灯火のタベについて 3. 町が主催する音楽関係の日本音楽著作権協会報告について	9
高津 鶴己	1. 防災対策について(7月西日本豪雨に関連して) 2. 建設工事等競争入札参加者の資格及び入札等について 3. インターネット依存症等について 4. 若年者に限らないひきこもり対策について	10
渡邊 文敏	1. 図書館・歴史資料館について 2. 図書館長 雇い止めについて 3. 町営住宅長寿化について(ストック計画) 4. 田川地区水道企業団統合について 5. 障害者雇用水増しについて 6. ゴミ、し尿処理施設建設について 7. 給食センターについて	11
尾崎さつき	1. 認知症対策について 2. 選挙制度について	12
堀江 政洋	1. 公立保育所の民間移譲について	13
木村 幸治	1. 災害対策について 2. 各種基金について 3. 鳥獣害対策について 4. 職員雇用状況について	14
橋本 騰馬	1. 平成30年7月豪雨について 2. 福智町の児童におけるスポーツや文化活動について 3. 娯楽施設等について 4. 全国に発信アピールできるような事について	15

※各議員が質問した事項の中から抜粋して掲載しています。



原田 幸美議員

バイパス(田川・直方)の活性化について

問 田川・直方のバイパスが約46年前に開通したが、診療所の前など起伏が激しいところもあり、バイパスの活用がされていないようだが、町長の考えを伺いたい。

答 町長 町内のバイパスは起伏が激しくバイパス沿いではコンビニやスーパーが撤退し、空き地の部分も多く見受けられる。町としては、早急に活性化につながる方策を考えたいと思っている。

問 町の活性化を図るため道の駅をつくってはどうか。金川農協の直売所は、月に1億円位の売り上げがある。町内の生産者も出品しており頼りにしている。町内にもそういう直売所があれば生産者も潤うと思うがどうか。

答 町長 田川郡内の道の駅に関しては、商品を集めることに苦慮している状況もあり、集客が厳しいところもあると聞いている。だが、道の駅の建設というのは一つの方策として考えさせていただきます。



▲田川・直方バイパス

福祉バスの活用について

問 現在、福祉バスは町内だけの巡回となっているが、時間帯によっては利用者が乗っていない場合も多い。高齢者が田川市、飯塚市などの大きな病院にかかる時に交通手段が無く困っている。巡回バスの空いている時間帯を調査し、そちらに回すことは出来ないのか。

答 町長 町外に福祉バスを運行することは、今のところ考えていない。ただし、田川広域定住自立圏構想の中

で、地域公共交通網の整備という項目の一つとして、田川市郡市町村が連携して、その地域に見合った公共交通の体系をつくって行くことになっている。各町村ではどこも同じような状況で苦慮しているので、その中で議論していきたい。

意見

町外の大きな病院に大変不自由している。福祉バスを町内だけに止めず、町民が喜ぶような活用の仕方を考えていただきたい。

問 町長は、山間部の活用のため、カボスの生産に取り組むとのことだが、カボスの生産には、早くて3年、遅くて7年と時間がかかる。加工用の生産を目指していると思うが、損得がわからないと作る人はいないと思う。早急に取り組んでいただきたい。また、平坦地については、今のところ、米、麦、大豆に頼っているが、農機具代も

高く採算面で合わないことが、若者に敬遠される理由の一つとなっていることから、施設園芸に取り組んでどうかと考えている。田川市では、パプリカを特産品として売り出している。本町でも何か一つ特産品として売れるような物を作っていく必要があると思うがどうか。

答 町長

農業振興については、荒れた耕地の活用として、耕作放棄地や中山間地を活用して、ユズ、レモン、カボス等柑橘類の栽培を積極的にやりたいと考えている。現在、川崎町にあるマルボシ酢が韓国から2千トンの原料を輸入しているとのこと。地元での産地育成を考えており、本町とも協議を重ねている。なお、後継者の育成については、若者が、農業にかける意気込みなどを示していただくことが重要だと思うが、町として育成方法を考えてみたい。



木戸 勝正議員

税務課業務内容について

問 稲の坪刈りについて、田川市郡合同での研修は実施しているのか。また、町内どの地区で調査をし、収穫は、一反にどの位あるのか。

答 町長 坪刈りは、20年程前までは、農家に依頼して作況の調査を行っていたが、現在は実施していない。

問 大体一反当たり8俵から9俵の収穫だと思いがどうか。

答 町長 中山間地の田と平地の田では取れ高は変わる

問 が、大体その位だと思う。徴収職員は、県や田川市郡とどのような内容で研修を実施しているのか。また、担当課として徴収率向上のためどのように努力しているのか。昨年度の悪質滞納者に対する差し押さえ件数、競売の件数は何件あったのか。

答 町長 田川地区市町村税務連絡協議会において、年6回程会議や実務的研修を実施している。また、再三にわたる文書催告や電話催告に応じない滞納者については、給与、預金、不動産などの調査をして差し押さえ、家宅捜索を行っている。

問 毎年8月に開催している水と灯火の夕べに福智町太鼓保存会が参加し、イベントの盛り上げに協力しているが、多くの太鼓が破損し練習にも支障を来していることから、町に助成金をお願いしていると思うが、どうなっているのか。

答 町長 イベントへのご協力に感謝したい。太鼓が破損し助成金を要求されていることは担当課を通じ承知している。正式に文書で要求していただき、助成金の交付が必要と判断すれば予算の範囲内での交付は可能である。

水と灯火の夕べについて

問 毎年8月に開催している水と灯火の夕べに福智町太鼓保存会が参加し、イベントの盛り上げに協力しているが、多くの太鼓が破損し練習にも支障を来していることから、町に助成金をお願いしていると思うが、どうなっているのか。

答 町長 福智の3曲は、全町民に親しみを持っていただく意味も含め、踊り継がれている。他の新しい曲を入れることで、踊りの練習の励みとなり、活性化につながるものと考えている。

問 年々、参加者が減っているようだが、実行委員会は何か対策を考えているのか。町の大きなイベントでもあるので、町内全域の人が参加できるように努力すべきではないか。

答 町長 確かに参加者は減少傾向にある。合併して12年、色んなイベントが誕生し、旧3町から受け継がれたものもある。私自身、イベント全体を見直す時期に来ていると



▲水と灯火の夕べ

町が主催する音楽関係の日本著作権協会報告について

問 町が主催するコンサート等で楽曲を使用する場合は著作権協会に演奏利用の申込が必要だが、報告はしているのか。

答 町長 町主催の場合は営利目的ではなく、入場料の徴収もしていないことから、出演者に報酬を支払わない限り、著作権は発生しないものと考えている。



高津 鶴己議員

防災対策について (7月西日本豪雨に 関連して)

問 大雨特別警報が出た7月6日、町は警戒本部を立ち上げ徹夜で対応された。広報ふくち8月号で防災特集を組んで詳細を報告、従事された職員の皆さんに敬意を表したい。浸水箇所が4箇所あったとのことだが、消防署金田分署の前の道路が冠水して通行止めになっていったようだ。救急車・消防車の出動に影響がなかったのか。出動できなかつたとすれば大問題だと思ふ。町長の見解は。

答 町長 出動には影響なかったが、金田分署の前の道路は県道であり、現在、県土整備事務所そして田川消防とも協議しているところである。

問 浸水箇所4箇所について町はどうされるのか。そのまま放置するの

答 町長 放置することはしない。今後の対応について関係課と協議・検討中である。

問 草場地区の場合、家が孤立してポットで救出した事例は、やはり排水ポンプを設置して強制排水すべきたと思ふがどう

か。水すべきたと思ふがどうか。
答 町長 草場地区は多年にわたる懸案事項だと認識している。排水ポンプの設置も含めてしっかりと対処していきたい。



▲草場地区水難救助

建設工事競争入札参加の資格及び入札等について

問 一人親方とか従業員一人の場合にはDランクに格付しており、発注金額1500万円未満と決めている。AからDの等級も含めて見直すべき時期に

答 町長 開館時は職員が14名で、司書資格所有者は6名であった。

問 前図書館長の雇止めは新聞でも大きく掲載されていたが、任用期間は何年だったのか。

答 町長 その件は現在裁判中であるため、回答は控えない。

問 51歳の女性が館長職に意欲を燃やし並々ならぬ思いで応募し採用された。これからという時に雇止めされた。町長は、「係争中で答弁できない」ということなので、質問要旨だけは伝えさせていた

だ。任用期間については、館長募集要領では5年間となつている。前館長に契約をしない事を伝えたのは、いつ頃誰か。雇止めの理由は何か。入館者数の設定はしたのか。今年の3月末までは何人か。パワハラがあったのか。など。この質問要旨の発言中、一般質問

来ていると考えるが、町長の見解は。
答 町長 ランクによる工事金額の制限に関しては見直しの時期にきていると考えており、検討してみたい。

インターネット依存症等について

問 インターネット依存症・ゲーム障害が新たな疾病に認定された。日常生活に支障を来し、暴力や引きこもり、うつ病などの合併症や脳の障害を引き起こすおそれもあるとのこと。アルコール中毒、禁止薬物中毒、ギャンブル障害と同様にネット依存症・ゲーム障害に対応すべき時期だと考えるが、町長の認識は。

答 町長 ネット依存症は大きな問題と認識しており、一説には麻薬等の薬物よりも危険な状況にあるという話も伺っている。この危険性を広報や講演会等を通じて

を止められ、2時間後に再開した。住民への情報が減り、「知る権利」も制約されたことは誠に遺憾である。

問 町営住宅長寿命化計画の見直しについて
問 鉱害復旧の申請はあるのか。金田地区は申請していない。

答 町長 4団地を申請している。金田地区は申請していない。

問 町営住宅の管理は町内業者に委託できなかったのか。

答 町長 9業者による入札の結果、町外業者が選定された。

問 水道企業団統合について
問 町内にある浄水場等の施設の今後の方向性についてはどうなっているのか。

答 町長 現在までの負担額は7872万円、30年度は2568万円となっている。

問 不登校から引きこもりになつている事例が多くなつているのではないかと懸念している。不登校・引きこもりの実態はどうなつているか。

答 教育長 7月時点で30日以上不登校は小学校で8名、中学校で14名、8割ほどが6ヶ月以上の長期欠席者で小学校が5名、中学校が12名となつている。

意見 いわゆる8050問題、介護が必要となる80歳代の親と50歳代のひきこもりの親子関係が話題となつている。これから更に進む高齢化社会において重大な問題になると思ふ。いろいろな相談があつた場合には真摯に対応していただきたい。

問 町民、特に成長過程の子どもたちに認識させていく必要があると考えている。
若年者に限らないひきこもり対策について
問 不登校から引きこもりになつている事例が多くなつているのではないかと懸念している。不登校・引きこもりの実態はどうなつているか。
答 教育長 7月時点で30日以上不登校は小学校で8名、中学校で14名、8割ほどが6ヶ月以上の長期欠席者で小学校が5名、中学校が12名となつている。



渡邊 文敏議員

図書館・歴史資料館について

問 平成27年3月に図書館長を募集しているが、応募期間と何名の応募があつたか。

答 町長 平成27年3月2日から18日までで、応募者数47名であつた。

問 応募要項の中で学歴・司書資格・年齢・国籍等不問とあるが、どういう考えからか。

答 教育長 学歴等に囚われずその人自身を評価するため、そのような要件は不問としている。

問 年収650万円の給料は高額ではとの意見が議会でもあつた。実際の額で支給したのか。

答 町長 その額で支給している。

問 勤務時間はどうなつていたのか。また残業、休日出勤した分は支給されたのか。

答 町長 勤務時間は午前8時30分から午後5時15分までで、残業等に関しては支給していない。
問 職員は何人体制か。図書司書の資格は何人が持つているのか。

答 町長 開館時は職員が14名で、司書資格所有者は6名であった。

問 前図書館長の雇止めは新聞でも大きく掲載されていたが、任用期間は何年だったのか。

答 町長 4団地を申請している。金田地区は申請していない。

問 町民、特に成長過程の子どもたちに認識させていく必要があると考えている。
若年者に限らないひきこもり対策について
問 不登校から引きこもりになつている事例が多くなつているのではないかと懸念している。不登校・引きこもりの実態はどうなつているか。
答 教育長 7月時点で30日以上不登校は小学校で8名、中学校で14名、8割ほどが6ヶ月以上の長期欠席者で小学校が5名、中学校が12名となつている。



尾崎さつき議員

認知症対策について

問 厚労省の調査では、団塊世代が75歳とな

る2025年には認知症を患う人が700万人を超えると推計され、65歳以上の高齢者のうち5人に1人の割合で認知症を患うことになる。だが、生活スタイルを健康的に変えていくことで認知症の予防になる。日常生活をしていく上でおかしいと感じ始めた人がいきなり病院に行くのはハードルが高いという方も、認知症力フエだと気軽に足を運べて、早期発見や早期治療につなげると同時に、交流を通じて症状の進行を遅ら

答 町長 現在、実施しているのは2カ所だが、開設に向けて準備している所も数カ所ある。町としては、地域や社会福祉協議会とも連携しながら認知症カフェの数を増やして行きたいと考えている。

せる効果もあるということ。国も平成24年9月に策定した認知症施策推進5カ年計画オレンジプランで認知症力フエの普及を位置づけている。福智町ではどれ位認知症力フエがあるのか。

問 徘徊高齢者の安全確保は極めて重要であると考えている。早期発見

や早期保護には、認知症の方を温かく見守る応援者、つまり認知症サポーターを増やしていく必要があると考えている。本町でのサポーター養成の現状と人数はどれ位いるのかお尋ねする。

答 町長 昨年、認知症サポーター養成講座を13回開催し、約320人の方がサポーターとして誕生している。また、子どもたちに認知症に関する正しい知識を持ち、もしもひとり歩きをしている人を見かけたときには、声かけできるよう町内の小学4年生を対象にサポーター養成講座を実施している。今後も多くの方に認知症の人やその家族を手助けできるように、サポーター養成講座は継続していきたいと思っている。

問 日頃の訓練がいざという時に役立つと思いが、徘徊模擬訓練はどのように実施しているのか。

答 町長 前町時代に既に将来の民営化を見据えた職員配置となっていた。私になっても民営化の方向性の中で、保育士の職員採用をしなかったというのは事実だ。

問 民営化ありきで今まで職員採用をしてこなかったのか、行政の責任ではないか。

答 町長 前町時代に既に将来の民営化を見据えた職員配置となっていた。私になっても民営化の方向性の中で、保育士の職員採用をしなかったというのは事実だ。

問 公務員の人員費の負担が住民にとつて重荷になっているとすれば、それは、行政部門全体の問題であり、先に、保育所を民営化にしなければならぬことにはならないのではないか。

答 町長 公立保育所の民営化は、国の民営化の方針に従った動きで、民間に移譲することで保育の質が落ちるとは考えていない。

問 公立保育所が同じ定員の私立保育所に移

答 町長 声かけ見守り模擬訓練としては、平成28年度より実施している。今年度は、高齢者が行方不明になったとき早期に発見できるように警察、社協、行政の連携による支援体制として高齢者sosネットワーク体制を構築している。



▲認知症サポート養成講座（市場小）

しやすい環境を整えるため、投票時間を2時間延長する公職選挙法の一部改正が平成10年6月1日に施行されている。

問 年々、期日前投票の投票率は増えているが、投票日の時間帯別の投票率では、18時以降の投票率が減少傾向にあることは分かっている。投票時間を繰り上げることで経費削減や職員の労力の負担を軽減することができると思う。投票時間を見直した自治体として、18時までが、添田町、赤村、古賀市、19時までが、東峰村、みやこ町、築上町となっている。本町においても投票の時間を以前の18時に改正してはどうか。

選挙制度について

問 平成10年から投票時間

の延長が実施されているが、投票締め切り時間が18時から20時に延長された経緯についてお尋ねする。

答 町長 有権者のより投票

金額については基準財政需要額に適切に措置されるよう補正を行っている。との発言があり、国庫補助金の一般財源化によって何ら影響が生じることはないと思われるがどうか。

答 町長 民間保育園の施設整備については、55%の補助金があるので有利であると思う。

意見 公立のままでも運営までとほとんど差異がない。保育園に限らず公立で残せるものは公立で残すという努力も大切だと思う。



▲神崎保育所

公立保育所の民間移譲について

問 中央保育所は平成31年度に民間への移譲が予定されているが、中央保育所及び神崎保育所の現在の進捗状況はどうなっているのかお尋ねする。

答 町長 現在、中央保育所は、4月から7月の間、4回の三者協議会を行い、町、法人、保護者の承認の上で、10月より、法人から、1歳児、2歳児、3歳児、4歳児の各クラスに1名ずつ保育士が入り合同保育を行う予定にしている。31年4月の民営化移譲で保護者の不



堀江 政洋議員

問 特に、0歳児から3

歳児の保護者の理解を得られるよう、民営化になることをしっかりと説明する必要があらうと思うがどうか。

答 町長 保護者の理解が得られるよう、しっかりと丁寧



木村 幸治議員

災害対策について

問 7月6日、7日の豪雨被害の状況と対応についてお尋ねする。

答 町長

町内4カ所の河川で氾濫があったが、地区消防団と行政で、排水、土のう積みなどの対応をした。

問

大雨で川の水位が増し、川に流れ込む水を制御するための、排水門の操作はどのような状況になっていたのか。

答 町長

各水閘門に配置している操作人が、水位を確認の上、開閉操作を行っている。また、職員による巡

視警戒もやっている。

問 町内にはどの位の樋門があるのか、また、操作確認はしているのか。

答 建設課長

町内46カ所に樋門があり、職員あるいは国土交通省の職員が確認している。

問

冠水を防ぐための排水ポンプとして、赤池地区の川端排水機場と金田地区の五反田排水機場の2カ所あるが、今回の大雨で草場地区が岡森井堰の開閉で冠水に対処できると思われていたが、冠水している。ここにもポンプ場の設置が必要ではないか。

冠水を防ぐための排水ポンプとして、赤池地区の川端排水機場と金田地区の五反田排水機場の2カ所あるが、今回の大雨で草場地区が岡森井堰の開閉で冠水に対処できると思われていたが、冠水している。ここにもポンプ場の設置が必要ではないか。



▲岡森井堰

答 町長

今後、関係機関とも協議しながら排水ポンプの設置を考えていきたい。

問

農業用ため池には、梅雨期にその上流で降った雨をため池に貯めるという防災の役割があるが、7月の大雨が予測される時期には、ため池の水量を減らしておく必要があるのではないか。

答 町長

行政としては、水利権の関係もあるが、梅雨期に入る前における程度水量を減らしておく必要があると考えている。

各種基金について

問 各基金の監査は行っているのか。

答 町長

監査委員が行っている。

問

農業関係者に関するあるかんがい施設維持管理基金は、ポンプの電気代や井堰の補修費用などに使用されているが、貴重な財源を有効に活用するには農家も基金状況を認識する必要があると思うがどうか。

答 町長

各基金の状況については、できれば広報を通じて周知したいと思っている。

鳥獣害対策について

問 最近特にアライグマによる農作物等の被害が多くなっている。行政の対応はどのようなものか。

答 町長

アライグマによる被害は農作物等に限らず、空

き家や一般宅地にも被害が及んでいる。現在、農政課の職員5名にわな猟免許を取得させ、地元猟友会と共に箱わなを設置するなどの対策を行っているが、アライグマの発生に追いついていない状況にある。

問 わなの数や、人的な対応をする要員も増やす必要があるのではないか。

答 町長

被害がこれだけ拡大してきているので、人員の確保も踏まえ、財政の範囲内で検討したい。

職員雇用状況について

問 正規、非正規職員の割合はどのようなものか。

答 町長

本年9月1日現在で、正規職員254名に対し、臨時・嘱託職員の非正規職員が171名、合計で425名となっている。非正規率は、40.2%となる。

全国に発信アピールできるような事について

問 例えば、スポーツの全国大会を本町で開催することについてはどうか。

答 町長

大歓迎だ。全国大会が本町で開催されるような状況ができれば、しっかりとした体制を取っていききたいと思っている。

問

本町主催の全国グラウンドゴルフ大会を計画してみているかどうか。建て替え後の金田小中学校の跡地、あるいは金田公園などがあろうと思うが。

答 町長

金田小中学校の跡地に関しては、何か利用方法を考える必要があるが、色んな大会を招致できるように整備も一つの考え方としてはいいのではないかと考えている。

意見

ぜひ、前に進めていただきたい。

平成30年7月豪雨について



橋本 騰馬議員

問 町内で、河川が氾濫したところは何本もしくは何筋あったのか。

答 町長

1カ所、泌川で氾濫があった。

問

金田地区の島田川も氾濫したと思うがどうか。

答 町長

確かに、島田川もそのとおり氾濫している。

問

氾濫した川に対して何か対策を講じるのか。

答 町長

泌川については、県

へ河川の流量の拡幅及び、堤体のかさ上げの要望を行いたいと思っている。島田川に関しては、排水ポンプを設置するなど対策を検討したいと考えている。

問

マーキングすれば、自主避難の準備がいち早くできるのではないかと。町内全ての橋脚にメモリをマーキングできないか。

答 町長

国土交通省へ橋脚にマーキングの整備について要望したいと思っている。

福智町の児童におけるスポーツや文化活動について

問 本町出身の子どもたちが、全国で活躍している大変嬉しく、誇らしく思えるが、町として、この子どもたちの後に続く小学生や中学生に対して、何か具体的な支援をしているのか。

答 町長

各種クラブに対しては、体育館や運動場の使用料金を免除している。

問

頑張っている子どもたちに、無理をしても道具の支給や各クラブに支援金を大判振る舞いしてみているかどうか。

答 町長

検討させていたただく。

意見

子どもは無限の可能性を秘めた宝なので、宝が眩しいくらいピカピカに輝けるよう支援していただきたい。

娯楽施設等について

問 現在、町が提供している娯楽施設には何があるのか。

答 町長

子どもたちを含め、高齢者の皆さんがしっかりと人生を満喫でき、生きがいを持って暮らせるような町づくりを進めていきたいと思っている。

研修
報告

常任・議会運営委員長・副委員長研修会で 学んできました。

平成30年10月26日

福岡県自治会館において「常任・議会運営委員長・副委員長研修会」が開催されました。「地方議会をめぐる諸問題と委員会の進め方について」を演題に、前全国都道府県議会議長会事務局次長である内田一夫氏から講演を受けました。

内容は、地方議会をめぐる最近の動きを取り上げ、(1)平成29年地方自治法の改正概要(議会関係)(2)なり手不足対策(3)男女共同参画の推進法についての解説でありました。また、委員会の進め方として、委員長の心得や権限等に関するお話もありました。

特に、委員長の心得としては、委員長は、会議の進行に大きな影響力を有しているため、中立公平を旨として自分の意見を会議員に押し付けることなく、会議を進める必要があると説かれていました。これに関しては誰も思いあたるところがあるのではと思います。

また、議員のなり手不足につきましては、小規模になるほど議員のなり手不足が切迫する状況にあり、その要因としては、各市町村において定数削減を進めてきた結果、元々議員定数が少ない小規模市町村ほど議員の負担感が増加しており、時間的拘束が大きい一方で、議員報酬だけでは生計を立てていけない状況があるとのことでした。本町でも、議員のなり手不足対策を検証する必要があると思います。

本町の議員定数は、来年4月に予定されている統一地方選挙後、現在の20名から2名削減した18名となります。しかし、町民の声を町政に反映させる窓口がせばまれるという反対意見も看過することのできない問題だと思えます。



表紙の紹介



一の鳥居

厳かな空気が漂う 福智下宮神社

福智修験の発祥の地とされる福智神社は、白鳳元年(西暦650年)に開山したと伝えられており、農耕に従事する企救、鞍手、田河の三郡にまたがる三六カ村の崇祖として、信仰の中核的な役割を果たしてきました。福智山頂に上宮、その中腹付近に中宮、麓には下宮があります。

福智下宮神社は、福岡県神社誌によれば、創建は飛鳥時代の末期、慶雲4年(西暦707年)とされています。なお、日本武尊の父である景行天皇(西暦71年から西暦130年推定)が自ら九州に遠征して熊襲討伐をした際に休息をとったと伝えられる地に鎮座しているとされています。また、境内の鳥居のそばには数々の名曲を残した河村光陽先生の生誕地記念碑があります。



朝夕めつきり冷え込むようになり木枯らしの冷たさが身にしみる季節になりました。後世に伝えたい息づく伝統稲荷神社の盛大な祭典を行う郷土の獅子舞、その起源は数百年前といわれています。郷土獅子の場合、赤が雄獅子、青は雌獅子と区別されており、舞うことにより、祓(はら)い、魂(たま)を行ないます。楽打ちは少女はちまきにタスキをかけ、鬘斗を背負い手甲(てうぎ)脚絆(くまそ)は優美そのものです。獅子舞は楽によつてはこばれます。横笛と太鼓が主で稚児のうつつ太鼓も各楽章の区切りをつける大切な役目をもっています。楽は曲楽と舞楽に大別され、共に十二楽に別れ、更に楽は四つに区分されます。この楽の分れがそのまま獅子舞の四つの変化につながっています。この稲荷神社の祭礼を子ども達に伝承し、末代まで受け継がれることを願っています。寒さ厳しき折、新年を健やかに迎えます事をお祈り致します。

木戸勝正